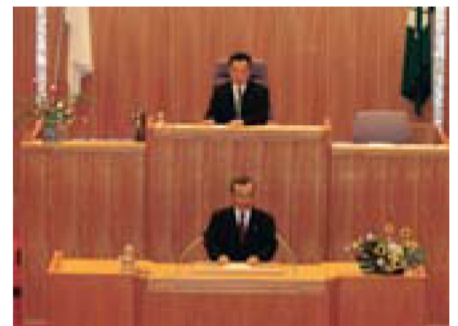


# 平成17年第3回 三重県議会 定例会

## 県組織のあり方や 再編について議論



平成十七年第三回定例会を、九月二十二日から十月十九日まで二十九日間の日程で開催しました。

今回の定例会では、「平成十七年度三重県一般会計補正予算(第四号)」ほか三十六件の議案、水道事業ほか三件の企業会計決算にかかる認定議案並びに議員提出議案五件を審議しました。

二十日の開会日には、知事から、提出議案の提案説明が行われました。また、二十七日には、議員提出議案二件を上程し、提出者からの提案説明を行いました。

会期中、代表一般質問合わせて四日間の日程で、質疑・質問を行い、十五人の議員が質問に立ちました。

二十九日には、補正予算案二件を、緊急を要することから先議し、原案どおり可決しました。また、十月三日には、追加議案二件を上程しました。

十月十二日、十二日及び十三日には、各常任委員会並びに予算決算特別委員会の各分科会を開催し、議案や請願の審査などを行いました。また、七日及び十七日には、予算決算特別委員会を開催し、予算議案や予算関連議案及び企業会計決算の審査などを行いました。

閉会日の十九日には、上程した知事提出議案三十四件を原案どおり可決したほか、議提議案二件のうち、一件を修正して可決し、ほか一件を原案どおり可決するとともに、四件の企業会計決算を認定しました。また、請願五件を採択したほか、取用委員会委員の人事関係議案に同意しました。さらに、「平成十六年度三重県歳入歳出決算」ほか十一件の決算認定議案を上程し、予算決算特別委員会に付託のうえ、閉会中の継続審査としたほか、閉会日に上程した議提議案三件を可決するとともに、意見書案八件を原案どおり可決し、閉会しました。

### 代表質問

#### 少子化対策について

県としてのインシアチブを

福山 瞳議員  
(新政みえ/旧松阪市・旧飯南郡選出)

#### 問

急速な少子化が進んでいる現在、少子化の歯止めとなる対策を総合的に展開するとともに、地域社会全体での取組を推進していくべきであり、少子化対策と男女共同参画社会の実現を同時に取り組むことにより、少子化に歯止めがかかると考えています。なかでも、子どもをもつ看護師が安心して働けるような院内保育といわれる保育サービスの供給体制、子どもを産み育てることに伴う経済的負担の緩和などが必要と考えます。



県議会が可決した、「少子化対策の着実な取組を進める決議」を踏まえ、仕事と子育ての両立支援や子育て家庭の経済的負担の緩和など、次世代育成対策支援にどのような決意と考えで取り組んでいくのかお伺いします。

#### 答

子育てを地域社会全体で支える必要があると考え、ささえあいをキーワードとした、三重県次世代育成支援行動計画を策定したところです。様々な取組を実施しておりますが、今後、県民・NPO・企業等による取組を、県民運動として広げていきたい

と考えています。

また、病院内保育所に対する助成等を行っており、看護職員が安心して働き続けることができる環境の整備について、引き続き検討します。

なお、乳幼児への医療費一部負担金の助成の対象を平成十五年九月から一歳引き上げ、四歳未満までとしており、制度の拡充については、事業実施主体の市町村と十分協議を行いたいと考えています。

● その他の質問事項

○ 平成十八年度(二〇〇六年度)の当初予算編成について 他

#### 観光振興について

新しいターゲットの開拓を

山本 教和議員  
(自民・無所属・公明議員団/旧志摩郡選出)

#### 問

県におかれては、誘客活動・観光振興策の展開が重要であると思えます。ご苦労いただいていると思いますが、国内からの集客が伸び悩んでいるなか、海外からの集客にも取り組む必要があると思えます。

ここ数年の、訪日した外国人の都道府県別訪問率を調べてみますと、仕事での訪問も含まれていますが、大都市圏が上位を占めており、三重県は中位程度に位置し、誘客への取組が少ないと思えます。

訪日される外国人の比率は、アジア地域が約六十%を占めている状況を踏まえ、友好提携を結んでいる河南省をはじめ、東アジアが新しいターゲットとして有望かと思えますが、この地域からの誘客に対する知事の考えをお聞かせします。